

まさき議会だより

No.127

2025年11月1日発行

9月定例会

- P 2 決算審査「性質別から見た**136億円**の使い道は」
- P 9 今後2年間の人事が決定
- P 11 町政について**3人が一般質問**
- P 13 (株)まさきばたけの方に聞きました

松前町
議会中継
[録画]

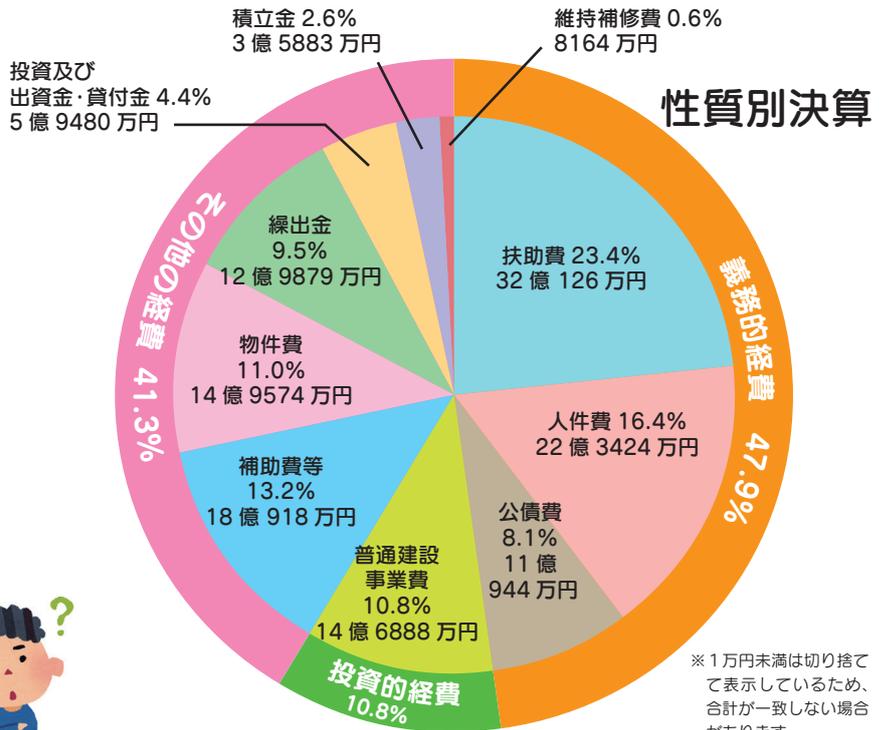


令和6年度 一般会計 歳出決算額 **136億円** の使い道は

財政指標

財政力指数	0.680 (0.696)
経常収支比率	92.2% (86.9%)
実質公債費比率	9.8% (9.6%)
将来負担比率	71.3% (71.5%)

() 内は令和5年度の数値



※1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

令和5年度決算と比較して変わったところは？



歳出合計は、9億7645万円（7.7%）増に。
義務的経費は5億5850万円（9.3%）増、投資的経費は1億1294万円（8.3%）増、その他の経費は3億500万円（5.7%）増に。
それぞれの増減の主なものは、義務的経費の扶助費は、物価高騰対策として支給した住民税非課税世帯等臨時特別給付金の減額があったけど、定額減税補足給付金の支給と、教育・保育給付や児童手当等などの増額により、3億3642万円（11.7%）増に。
投資的経費の普通建設事業費は、白鶴保育所の改築工事の事業完了などがあったけど、旧松前幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行のための施設整備、筒井地区の雨水対策工事や江川住宅外壁改修工事の増額などにより、1億1294万円（8.3%）増に。
その他の経費の投資及び出資金・貸付金は、公営企業が実施する浄水場施設整備に対する出資金の増額により、4億6570万円（360.7%）増になったよ。



あれっ？去年と違って左上の表の財政指標って？



財政指標は、決算の数値から町の財政状況を測る「ものさし」のようなものなんだ。



「財政力指数」について教えて。



財政力指数とは、行政サービスに必要な支出に対して、町が自前でまかなえる町税などの収入の割合（過去3年間の平均）のこと。数値が高いほど財源に余裕があるんだ。前年度と比べ下がっているけど心配ないね。



他のも教えて。



経常収支比率とは、町税など、毎年決まって入ってくる収入の中から、義務的経費や公共施設の維持管理経費など毎年固定的に支払わなければならない経費の割合のこと。全国的に財政が厳しいため、90%を超える自治体も多いようなんだ。

実質公債費比率とは、町の収入に対する負債返済の割合（過去3年間の平均）のこと。前年度と比べ上がっているけど、18%以上だと新たな借金をするためには国の許可が必要ということから、これも心配ないね。

将来負担比率とは、貯金や見込まれている収入に対し、将来負担する借入金の残高などの割合のこと。市町の早期健全化（イエローカード）の基準は350%なので、これも心配ないね。

すべての決算は？



右表のとおりよ。



令和6年度歳入歳出決算

一般会計	歳入	142億1821万円	歳出	136億5284万円
国民健康保険特別会計	歳入	31億8669万円	歳出	30億7425万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	5億7038万円	歳出	5億5316万円
介護保険特別会計				
保険事業	歳入	31億973万円	歳出	30億3801万円
介護サービス事業	歳入	2151万円	歳出	2047万円
水道事業会計	収益的収入	5億8997万円	収益的支出	4億1940万円
	資本的収入	22億1783万円	資本的支出	23億9994万円
下水道事業会計	収益的収入	4億9474万円	収益的支出	3億9282万円
	資本的収入	3億3385万円	資本的支出	5億7609万円

※水道事業会計・下水道事業会計ともに、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度消費税などで補っています。

監査委員からの審査報告と提言



○ 一般会計

主要な財政諸指標は良好な状態

- 1 社会保障関係費は今後も増加することが見込まれるので、全国の類似団体の状況なども踏まえ、適正な範囲の維持を。
- 2 納税の公平性を確保するため納税者の推移や動向を分析し、より効果的な徴収方法の見直しや今後予想される納税者数の減少にも目を向け、徴収率改善のための新たな方策の検討を。
- 3 これまで行ってきた経費節減に加え、DXを更に推進し、各部署の業務を横断的に見直すことで無駄をなくし、職員の負担軽減と業務効率の向上を。
- 4 事務事業シートにある課題を単なる現状分析に留めず、未来志向の視点で活用し、そこから導き出される新たな改革案の実行を積極的に。

○ 水道事業会計

- 1 最適規模の施設による効率的な運営を目指し、長期的な計画に基づいた安定的な経営を。
- 2 給水人口の減少など、収益的に厳しい状況が予想されるため、経常経費の削減や徴収率向上など経営改善に向けた取組を。
- 3 令和7年度から水道料金の改定が行われているが、今後の経営改善状況の分析をしっかりと。
- 4 経営戦略の基本方針に基づいた計画的な経営の実行と経営環境の変化に対する質の高い見直しにより、将来にわたっての安定的な事業継続を。

○ 下水道事業会計

- 1 収益の基盤である下水道使用料を着実に徴収できるよう整備済区域における未接続世帯の早期接続の促進を図り、より適切な運営に向けての経営努力を。
- 2 収益的収支には一般会計が負担する経費が含まれており、今後も、適正な経費負担区分を前提とした独立採算の原則に立ち、経営の健全化を。
- 3 企業債の現在高は減少してきているが、今後も動向に注意しながら運営を。
- 4 経営戦略の基本方針に基づいた事業推進に努め、決算分析や社会状況の変化を捉えた事後検証を行うことで、将来にわたっての安定的な事業継続を。

令和6年度決算審査

予算決算

事業成果を
チェック①

今後、考えていくべきことは

運転免許自主返納支援

- 問** 伊予鉄 IC い〜カードは終了するが代わりは。
- 答** JR 西日本の IC カード乗車券のイコカを加えられるよう、現在、調整中。

DX 推進

- 問** 業務効率化の成果は。
- 答** パッケージソフト購入費やデータ入力時間が削減された。粗大ごみの電子申請が 435 件あり、住民の申請作業の省略にも効果があった。

農地集積集約化



- 問** 補助金の執行率 93%の理由と今後の農業支援策の展開は。
- 答** 申請者が見込みより少なかったこと、農業法人が事業を中止したため。今後は国や県だけでなく町単独での支援策を検討。

ブロック塀等耐震化



- 問** 地震後から比べると申請数が減少傾向にあるが、啓発は。
- 答** 通学路のブロック塀など危険箇所への啓発は集中して取り組む。

カーブミラーの整備、更新



※イメージ図

- 問** 地域からの要望は。
- 答** 毎年、要望調査を行い交通安全指導員と職員が現地確認。5年に1回全数点検し、危険なものは取り替える。

公園管理



- 問** 遊具の維持管理は。
- 答** 誰もが安心して利用できるよう引き続き維持管理を行う。
- 問** 住民意見の反映は。
- 答** 義農公園は、住民や子どもたちのアンケートを基に整備予定。

予算決算

事業成果を
チェック②

不登校児童生徒支援



- ・不登校児童生徒支援員とは
学校に配置され、不登校の子どもたちを
サポートする専門職

問 松前中学校に配置された成果は。

答 利用生徒が当初1名から年度末には10名に増加。
サポートルームが安心できる場所となり普通教室に復帰した事例あり。

問 専門性の集中した「相談センター」が必要ではないか。

答 旧古城幼稚園を活用して、仮称「教育支援センター」の設置を検討している。
将来的には、不登校支援を一元的に行える施設を目指したい。

学校をサポート

- ・学校生活支援員とは
サポートが必要な児童生徒の介助や学習支援、
安全確保などを行う職員

問 学校生活支援員の支援時間が増加しているが、支援員の増員は。

答 採用枠は満たしており、支援員の業務は学校内で状況を調整しながら対応している。

- ・スクールサポートスタッフとは
教員の事務作業や準備業務をサポートする職員

問 増員の予定は。

答 町で2名、県費配置の学校補助員を含めると各校1名配置できているので増員の予定はない。

人権の町づくり大会



問 参加人数が数少ないのでは。

答 アンケート結果の分析を強化し、町民の要望を把握して、今後の大会に活かしたい。

GIGA スクール

- ・今年度、新しい端末に更新



問 教職員の研修は。

答 タブレット更新と合わせて研修や講習を行い、個人の習熟度に応じたサポートを継続していく。

子どもたちのために
学校教育の充実へ

予算決算

事業成果を
チェック③

健康で笑顔あふれる町づくり

個別避難計画

問 避難計画策定を委託する考えは。

答 対象者の状況を詳しく知る居宅介護支援事業者のケアマネージャーや、障害の相談支援事業所に委託して計画策定の準備を進めている。

地域福祉計画

問 それぞれの地域課題をどのように計画に反映していくのか。

答 地域課題の解決には社会福祉協議会の取組との連携も重要となる。計画では、行政、地域、社会福祉協議会、関係団体等が連携し地域を支える仕組みや取組を示すことになる。



保育士確保に向けて



問 人材派遣会社への紹介手数料は。

答 登録の保育士に町が直接交渉を行うことができ、採用が決まるとフルタイム保育士は 33 万円、パートタイム保育士は 16 万 5 千円を手数料として業者に支払う。

放課後児童クラブ



問 民間委託により人員不足解消と長期休暇中の対応はできたのか。

答 人員不足解消ができ、すべての部屋を開放できている。利用児童数は増加傾向にあり、今後は施設確保が課題。長期休暇中のみの預かりについては、シフトの関係等から実施できていないが、実施に向けて検討中である。

水道事業

問 浄水場が完成すると、運転管理委託料や動力費の見込み額は。

答 管理施設の追加や物価上昇などにより年平均約 2500 万円の増加。動力費も増加の見込み。

下水道事業

問 処理場の老朽化対策は。

答 供用開始から 20 年以上経過し、耐用年数を迎えているため、計画的に更新を行う。



慎重に審査し、
令和 6 年度の
決算を認定しました。



令和7年度一般会計補正予算（4回目）

2億958万円を増額

予算決算

補正予算を
チェック

生きる喜び

あふれる

町づくりへ

松前幼稚園整備

4700万円



問 交付金の活用は。

答 該当する交付金がないため、町債にした。

ふるさと納税 4978万円



問 見込み額に対する経費の割合が高いが、内訳は。

答 広告、委託料、サイト使用料などがあり、HPの管理、返礼品協力事業者との調整などが含まれる。

空家対策

393万円

- 町内の空家を全戸調査してデータベース化



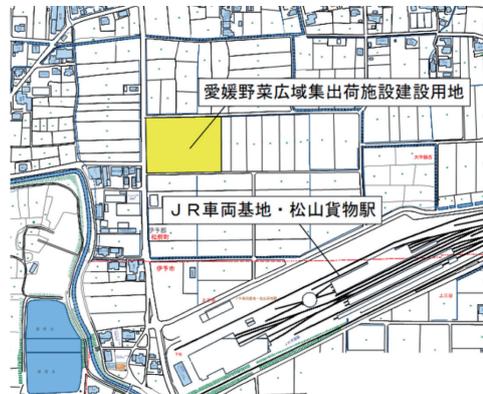
問 データベース化の完了時期は。

答 今年度末の予定。

意見 危険空家の除去を早急に。

愛媛野菜広域集出荷施設支援

907万円



問 建設支援の補助割合は。

答 補助は、国が2分の1、県が10分の1、市町が10分の1。市町の補助は受益地域13市町の利用率按分により算定。

出産世帯奨学金返還支援

466万円



問 第2子以降も対象か。今後の増減の見通しは。

答 第二子以降も対象。年齢要件が撤廃されたが予算内の見込み。

その他の補正予算

国民健康保険特別会計	393万円
後期高齢者医療特別会計	431万円
介護保険特別会計 保険事業	7171万円

選挙時の公費負担額の一部変更

条例改正の要点

- ・ 選挙運動用ビラの作成費用
1枚あたり 7.73円→8.38円
- ・ 選挙運動用ポスターの作成費用
1枚あたりの限度額 5562円→5607円



問 ポスターの掲示場数 63箇所であるが、予備を作成した場合の取り扱いは。

答 63枚までは公費負担として交付、掲示場数を超える枚数分は自己負担になる。

町立保育所の土曜日一日保育の実施

問 土曜日利用園児数の増加は。

答 園児数の 20～30%と見込んでいる。

問 保育士への負担が大きくなるのでは。

答 シフト等の割振りを工夫すれば、現在の保育士と来年度採用の保育士で土曜日の一日保育は実施可能と判断している。



意見 今後も保育士に対するきめ細かな対応や勤務体制に応じた手当を検討しては。

町民の暮らしに
よりそった改正を

いずれも可決しました。

専決処分の承認

一般会計補正予算（3回目）

3321万円増額

定額減税補足給付金の給付対象者が当初の見込みを上回るため

人事

人権擁護委員 矢野澄江さん（筒井）

その他の議案

- ・ 執行機関の附属機関設置条例の一部改正
- ・ 伊予地区ごみ処理施設管理組合の共同処理する事務及び伊予地区ごみ処理施設管理組合規約の変更
- ・ 都市公園条例の一部改正
- ・ 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例



町議会議員研修会に参加しました

令和7年8月8日

講演：議会が行うべき予算・決算審議について
自治体議員のコンプライアンス

審議するときのポイントや議員に求められるコンプライアンスについて再確認する機会となりました。



議長・副議長のあいさつ



議長 住田 英次

この度、議員各位のご推挙を賜り、再び議長
の重責を担うことになりました。

身に余る光栄であり、改めてその職責の重さを感じています。

前任期中は、皆様のご指導ご鞭撻により、議会が円滑に運営できましたことに心より感謝申し上げます。引き続き、議会が町民の皆様にとってより身近な存在となり、信頼される議会を目指してまいります。本町がさらに発展するよう、議員一同、より一層尽力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。私の就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長 曾我部 秀司

この度、議員各位のご支持により副議長に選任されました。この上ない光栄であるとともに、責任の重さを痛感しているところです。

これから議長のもと、

町民目線を忘れず、町民の皆様への期待にしっかりと応える議会となるよう努めていきます。

また、微力ではありますが、更なる議会改革と議会の活性化を推進していきます。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いして、就任のご挨拶とさせていただきます。

14人の新人事が決まる

総務産業建設常任委員会



委員長

藤岡 緑

副委員長

池内 邦仁

委員

加藤 博徳

村井慶太郎

住田 英次

西村 元一

池田 幸子

予算決算常任委員会

委員長 田中 周作

副委員長 村井慶太郎

議長を除く全議員

文教厚生常任委員会



委員長

稲田 輝宏

副委員長

重松 知之

委員

影岡 俊範

城村トキ子

田中 周作

曾我部秀司

渡部 恵美

議会運営委員会

委員長 加藤 博徳

副委員長 渡部 恵美

委員 藤岡 緑

委員 稲田 輝宏

委員 田中 周作

委員 曾我部秀司

一部事務組合

伊予市松前町共立衛生組合議会

藤岡 緑

渡部 恵美

西村 元一

池田 幸子

伊予地区ごみ処理施設管理組合議会

影岡 俊範

曾我部秀司

重松 知之

伊予市・伊予郡
養護老人ホーム組合議会

稲田 輝宏

城村トキ子

田中 周作

伊予消防等事務組合議会

加藤 博徳

村井慶太郎

池内 邦仁

議会広報常任委員会

委員長 渡部 恵美

副委員長 池田 幸子

委員 加藤 博徳

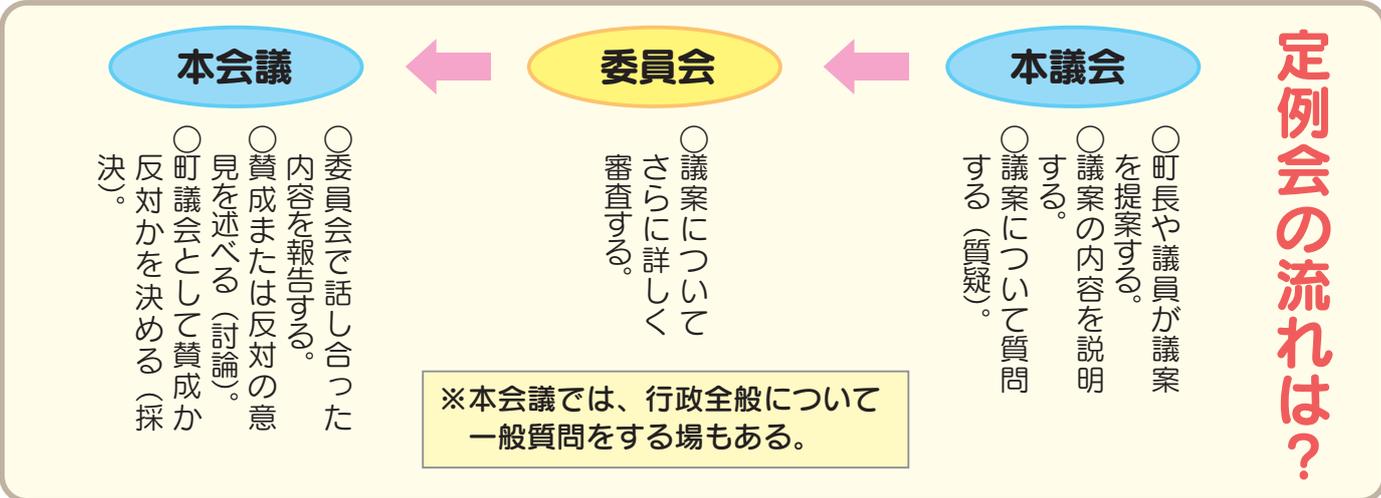
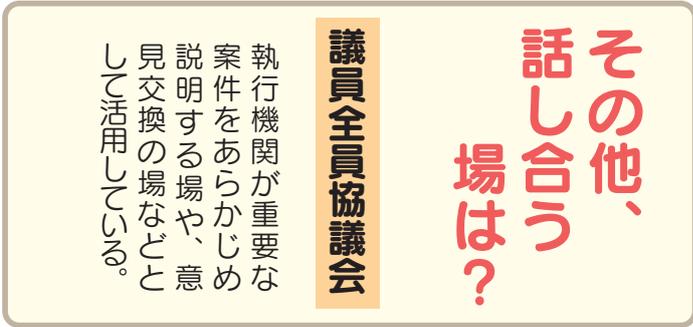
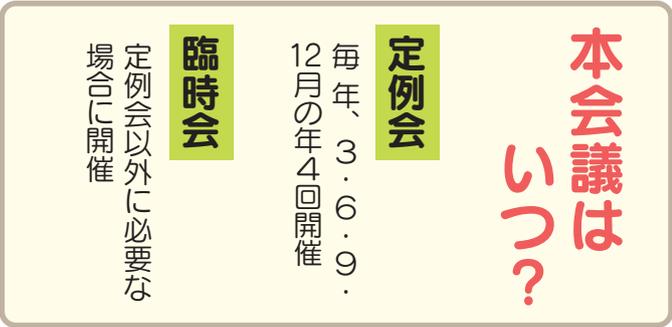
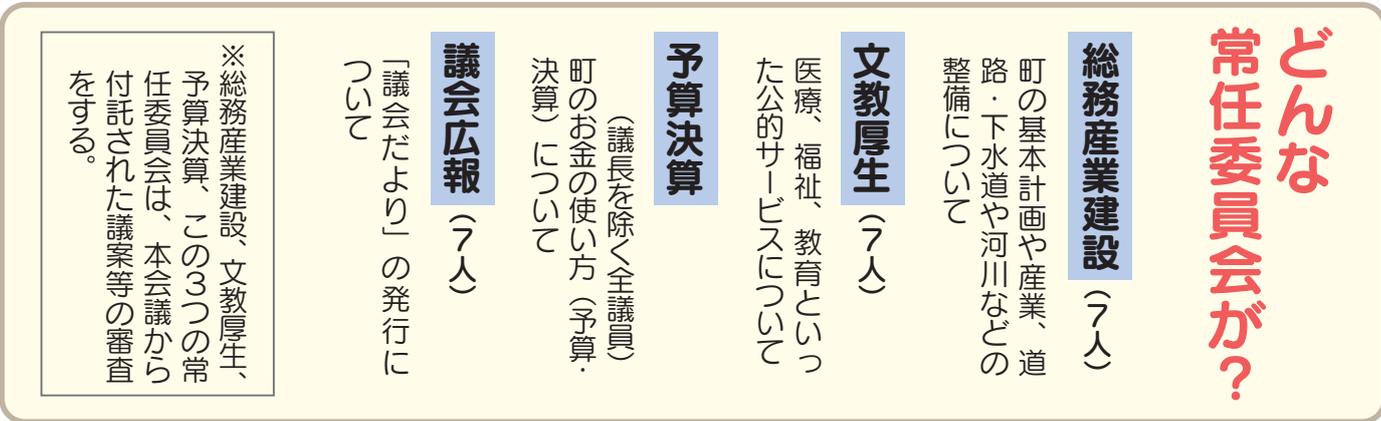
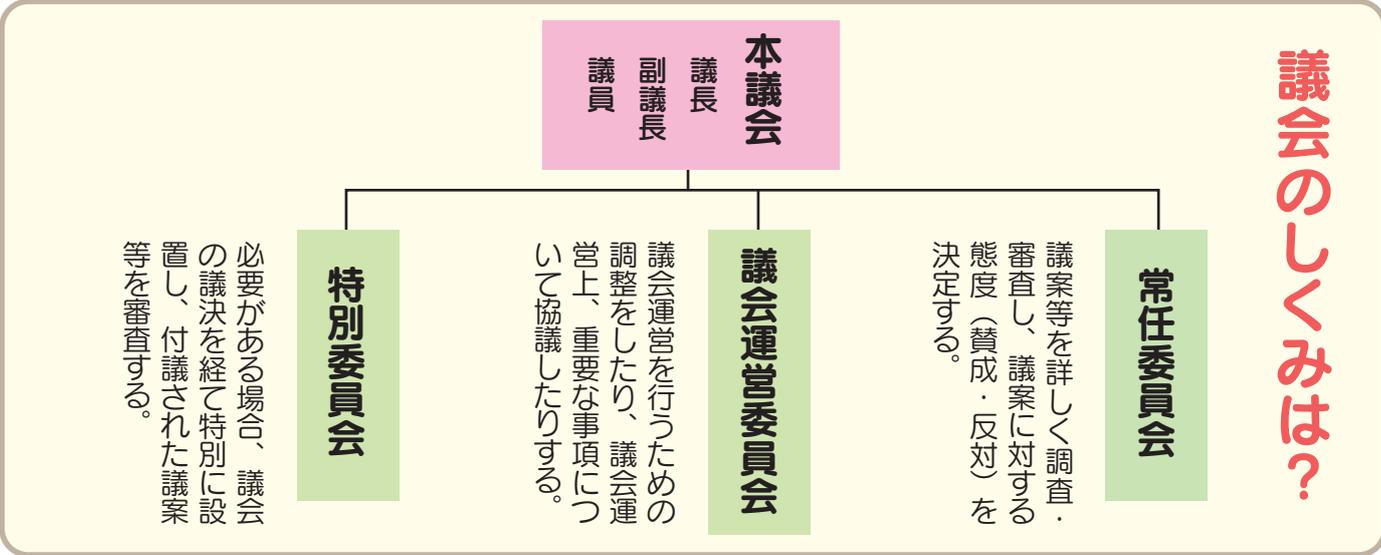
委員 影岡 俊範

委員 曾我部秀司

委員 池内 邦仁

委員 重松 知之

町議会のしくみとながれ



一般質問



※すべての質問を掲載しているわけではありません。
 詳しく知りたい方は、QRコードを読み取り、録画中継をご覧ください。

避難所の酷暑対策は

酷暑期の環境整備や運営
 体制も必要と考える

問 災害は季節を問わず、いつ発生するか予測が困難。近年の気候変動の影響で、防寒対策だけでなく酷暑対策も必要では。

答 町は指定避難所の酷暑対策として、体育館施設に早期の空調整備を検討している。電気式がガス式かなど、ランニングコストと災害体制の両面から慎重に比較検討を行い、必要な財源確保とあわせて整備を進める考えだ。

空調の導入は災害時の避難環境の向上だけでなく夏季の部活動、学校行事の継続的な実施や地域イベントの開催場所としての活用にも大きく貢献する。



藤岡 緑
 議員



館内温度 33℃、個別テント内はもっと暑い。
 (9/7 北伊予小 体育館での訓練)

問 避難所運営の整備はハード面のみならずソフト面も重要では。

答 熱中症リスクやプライバシー確保、生活衛生、食事提供体制など現在策定している「避難所運営マニュアル」の中で、夏季・冬季の対応方針を明確にしていく考えだ。

災害発生時の避難は、原則徒歩だが、避難要配慮者の移動や待機時の安全確保のため、車の使用に関するルールも今後検討していく。また、福祉避難所や在宅避難者支援体制強化にも取り組む。

体育館の空調設備導入は大いに期待するが、コストもかかるので、小中学校等優先順位を付けて段階的整備を。

道交法改正に伴う小中学校生への交通安全教育は

自転車の正しい利用や危険な行為の認識を啓発・強化



問 自転車の道交法改正の対応は。来年度4月より青切符制度導入に向けた講話を、今年度7月に伊予警察署署員が行うなど新制度の啓発に努めている。

答 これまで、小中学校生を中心に交通安全教育に取り組んできた。広報まさき、SNS等を通じ、幅広い世代に交通安全意識の向上を図っていく。



影岡 俊範
議員



ノーコードアプリによる業務改善は

現場主導でデジタル化を推進

問 業務改善の進捗状況は。

答 ノーコードツールは、専門的なプログラミング知識がなくても、職員自身が現場の業務に即したアプリを自ら作成・運用できる仕組みで、デジタル化を現場主導で推進する有効な手段である。

- ① マイナンバーカードの受取・更新予約管理
 - ② 健康ポイント事業に関する記録・管理
 - ③ カーブミラー点検業務の報告・共有
- など、複数の業務において「キントーン」を活用し、事務の効率化・迅速化に取り組んでいる。

業務に精通した職員と、アプリ作成に意欲を持つ職員が、部署を超えて協働することで、全庁職員が業務改善への意欲を醸成することを期待する。

ホッケー公園体育館の新設検討は

新設か改修か、情報収集集中

問 具体的な検討の進捗は。

答 現在、施設に必要な機能、国の補助制度、他自治体における類似施設の先進事例等の情報収集に努めている。整備に向けては、検討すべき課題も多いことから既存施設を改修するか、新たに建設するかも含め、段階的に実現可能性の高い整備計画を策定していきたい。

ホッケー公園は、町の指定避難所でもあるので引き続き、ホッケーをはじめとする本町のスポーツ振興と地域防災力の強化を両立できるよう、着実に取り組んでいく。



池内 邦仁
議員



アーバンスポーツパークの整備は

整備に向けた検討に着手



「松前町アーバンスポーツ設立の会」から要望書が提出されたがその対応は。

問 子ども議会に端を発したものであり、若い世代の声がまろくに反映される象徴的なプロジェクトであると捉え、まずは検討会を立ち上げる。民間企業との協働を視野に持続可能な運営モデルの構築を図っていく。

答 一歩一歩真摯に、そして着実な取組を。

一歩一歩真摯に、そして着実な取組を。

(株)まさきばたけ の方に聞きました

(株)まさきばたけのみなさんに農業のことや町のことなどを聞いてみました。



小林裕之さん



門屋沙和さん



松浦こずえさん

農業における 仕事のやりがい

- ・自分が試行錯誤して選んだ品目や育て方がうまくいって、おいしい作物がたくさん採れたとき
- ・自然と人と命の繋がりを実感できる

- ・覚えることがたくさんあったり毎日作物の成長を観察したりすることで日々新しい学びや発見がある

- ・一人では大変な作業もチームで力を合わせて達成できたとき
- ・地域の方から「頑張ってるね!」と温かい言葉をかけていただき人と人の繋がりを感ぜられる
- ・大変なことも多いけれどお客さまの「美味しかったよ」など直接顔を見て話しながら販売できるので頑張れる

苦労や悩みは

- ・年々温暖化が進み、同じ野菜でも作り方に工夫が必要で難しい
- ・小さい圃場が点在しているため、なかなか仕事効率が上がらない
- ・体力が必要（特に近年の暑さ）
- ・気候変動で毎年同じやり方では通用しない

松前町のよところは

- ・平地で災害も少なく、人／商業施設／自然がバランスよく、とても住みやすい
- ・どこ行くにも近く利便性が高く立地が最高（中核市の松山にも隣接／空港や高速も近い）
- ・地下水に恵まれ、おいしい野菜が作れる



松前町の問題点は

- ・海辺の整備が進んで海の活用がもっとできれば外からも人を呼べるのでは
- ・これといった特産や遊び場が少ない
- ・農免道路は車が飛ばしすぎるので危ない、横断歩道があると良い

議会に望むことは

- ・今後、農業人口はさらに減少し、限られた人材で農地を守っていくかなければならず、そのためにも効率的な農地集約は必須
- ・現実的には非常に時間がかかるため、一日でも早く少しずつでも良いので農地集約に向けて動いてほしい

- ・環境がいいので、子どもたちが「遊び」と「学び」を一緒にできるような場所を増やしてほしい（親子で畑を気軽に始められる場所／図書館の蔵書を充実させる／遊びながら学びを深められる場所や機会）

今年の新米は最高においしい!!
農業の魅力をどんどん発信し、
担い手不足にストップを。



町民の声

議会に期待すること

北伊予の一町民

ある日の朝刊を広げると、一面トップで「松前町アリーナ計画」という文字が飛び込んできました。記事によると、昨夏開催の「子ども議会」での意見をきっかけに今年7月、住民団体「松前町アーバンスポーツパーク設立の会」が、スケートボードや自転車BMXといったアーバンスポーツ

の施設整備を求める要望書を町議会に提出。議会からの通達を踏まえ、田中町長は9月定例町議会で、本年度から整備に向けた検討に着手すると表明していたとのこと。子どもから住民団体へ、そして議会へ、さらには町長へとひとつの想いが繋がったことを素晴らしいと思います。きっかけは子ども議会。町民の声を丁寧にしてあげた「議会の力」のようなシーンで「議会の力」を発揮して頂くよう期待しています。

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは11月末です。300字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

**【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆ Fax 985-4148 ◆**

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

12月9日(火)~22日(月)

一般
質問

12月15日(月)

インターネット
配信やっています



スケートボード専用 パークの設置は？

昨夏開催された「子ども議会」で子どもから「スケートボード専用パークの設置は？」という質問。

この意見を契機に、7月23日「松前町アーバンスポーツパーク設立の会」が、スケートボードなどのアーバンスポーツの施設整備を求める要望書を議会に提出。



8月4日、議長はその要望書を町長に提出。

町長は9月定例会で、本年度から整備に向けた検討に着手すると表明。



このような流れで、現在、検討中です。

編集後記

9月定例会において、正副議長、各委員会の改選が行われ、これから2年間、松前町のため、思いも新たにスタートいたしました。

このたび議会広報常任委員長を拝命いたしました渡部恵美です。

議会事務局には、「議会だより」への方々から「議会だより」へのご意見が届きます。それらひとつひとつが励みとなり紙面づくりに活かされています。これからも町民の皆さんとの対話を重ね、町議会、そして町政を身近に感じたいただけよう努めていきます。

今日もまた、松前町の旬の話題を求めカメラを片手に広報委員がまわりますので、よろしくお願いたします。

(渡部 恵美)

議会広報常任委員会

委員長	渡部 恵美
委員	池田 幸子
委員	加藤 博徳
委員	影岡 俊範
委員	曾我部 秀司
委員	池内 邦仁
委員	重松 知之